

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 映像作品等活用体制強化事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光国際部 観光資源活用課 観光コンテンツ係

電話番号：058-272-1111(内3934)

E-mail：c11337@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,000 千円 (前年度予算額： 2,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,000	0	0	0	0	0	0	0	2,000
要求額	1,000	0	0	0	0	0	0	0	1,000
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

県内を舞台・ロケ地としたドラマ、アニメ等は、地域活性化及び誘客促進につながる有効なコンテンツであるが、その活用にあたっては、一過性の観光PRにとどまるなど、新たな地域資源として十分に磨き上げができていない状況にある。

(2) 事業内容

県内で撮影された作品や県内観光地等をモデルとした作品など岐阜県ゆかりの映像作品や文学作品等を活用し、ゆかりの地の地域活性化や誘客促進につながるようなパネル展の実施等により、誘客促進につなげる。

【委託事業】

- ・映像作品等を活用したプロモーションイベントの実施

(3) 県負担・補助率の考え方

県内の舞台・ロケ地を活用して「清流の国ぎふ」の魅力を発信することから、県の負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

特になし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	1,000	映像作品、文学作品等を活用した各種プロモーション事業
合計	1,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 事業主体及びその妥当性

過去に県主催で実施した、①著作権交渉や活用方策等に関する知識を高めるセミナー、②舞台・ロケ地マップの制作、③映像作品の制作者を対象とした事業などは、「ぎふロケツーリズム協議会」が主体的に実施しており、協議会と連携し、相互補完的に事業展開を図る。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県内で撮影された作品や県内観光地等をモデルとした作品など岐阜県ゆかりの映像作品や文学作品を活用したゆかりの地の地域活性化や誘客促進につながるようなイベントの実施や広報物の作成等を実施することにより、岐阜の魅力発信とロケ誘致を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①観光消費額		2,702億円	2,900億円	3,100億円	3,600億円	75.1%
②観光入込客数 (実数)		4,263万人	4,750万人	4,800万人	5,300万人	80.4%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 関ヶ原古戦場記念館において「麒麟がくる」パネル展の開催 明智光秀ゆかりの山城PR動画作成
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 映画『ブルーヘブンを君に』、アニメ『やくならマグカップも』のパネルポスター作成、PRを実施 大河ドラマ『鎌倉殿の13人』関連ゆかりの地のPRを実施
	指標① 目標：1,900億円 実績：1,721億円 達成率：90.6%
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 大河ドラマ『どうする家康』関連ゆかりの地のPRを実施
	指標① 目標：2,400億円 実績：2,702億円 達成率：112.6%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>県が舞台・ロケ地となるドラマ・アニメ等が近年急速に増えつつあることから、作品を活用した誘客促進など十分な効果を得られる体制等を強化する必要がある。</p>
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 3	<p>県が舞台・ロケ地となる作品のPR等により、一過性の観光PRに留まることなく、本県の魅力向上に寄与しつつある。</p>
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p>	
(評価) 2	<p>作品ごとにロケ地となる自治体等と連携し、旬な作品の効果的な活用・PRを実施できている。</p>

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 速やかにブームを逃すことなく作品の活用を図る必要がある。また、作品の活用により、一過性の観光PRに留まることなく、継続的に県の魅力を発信していくことが必要となる。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 引き続き、作品を活用することで地域活性化を図っていく。また、作品ごとに、舞台となる市町村等と連携して、より効果的な作品の活用やPRを図っていく。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	